【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第３部門第２区分
【発行日】平成30年10月18日(2018.10.18)

【公表番号】特表2017-527575(P2017-527575A)
【公表日】平成29年9月21日(2017.9.21)
【年通号数】公開・登録公報2017-036
【出願番号】特願2017-513128(P2017-513128)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｋ　35/50　(2015.01)
Ａ６１Ｐ　17/02　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　 9/12　(2006.01)
Ａ６１Ｋ　47/34　(2017.01)
Ａ６１Ｋ　47/32　(2006.01)
Ａ６１Ｍ　35/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｋ　35/50
Ａ６１Ｐ　17/02
Ａ６１Ｋ　 9/12
Ａ６１Ｋ　47/34
Ａ６１Ｋ　47/32
Ａ６１Ｍ　35/00　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成30年9月4日(2018.9.4)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
羊膜、絨毛膜、中間組織層、またはそれらのいずれかの組み合わせからなる群から選択される微粒子化胎盤組織と、適切な賦形剤中の生体適合性接着剤または生体適合性ゲル化剤と、を含む組成物であって、対象に適用する前には流動性の形態である、組成物。
【請求項２】
前記組成物が、対象に適用する前には液体、ゲル、またはペーストである、請求項１に記載の組成物。
【請求項３】
前記組成物が、対象に適用した後に固体、半固体、またはゲルとなる、請求項１または２に記載の組成物。
【請求項４】
前記生体適合性ゲル化剤が、熱感受性ゾルゲル可逆性ハイドロゲルを含む、請求項１に記載の組成物。
【請求項５】
前記生体適合性ゲル化剤がポロクサマーである、請求項４に記載の組成物。
【請求項６】
前記生体適合性接着剤が、ポリアクリレート、ポリイソブチレン、マロン酸メチリデンポリマー、およびシアノアクリレートからなる群から選択される、請求項１に記載の組成物。

【請求項７】
前記微粒子化胎盤組織および前記生体適合性の接着剤またはゲル化剤が、創傷に適用する直前に混合される、請求項１～６のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項８】
前記微粒子化胎盤組織が、１００μｍ未満の粒径を有する、請求項１～７のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項９】
局所用の組成物または噴霧可能な組成物である、請求項１～８のいずれか１項に記載の組成物。
【請求項１０】
創傷を手当するためのシステムであって、
羊膜、絨毛膜、中間組織層、またはそれらのいずれかの組み合わせからなる群から選択される微粒子化胎盤組織を含む第１の組成物であって、流動性の形態である第１の組成物、
適切な賦形剤中に生体適合性の接着剤またはゲル化剤を含む第２の組成物であって、流動性の形態である第２の組成物、および
投与装置であって、前記投与装置の中に配置された前記第１の組成物を有する第１のチャンバと、前記投与装置の中に保存された前記第２の組成物を有する第２のチャンバと、前記投与装置から前記第１の組成物および第２の組成物を排出するように構成された１つまたは複数の開口部と、を含む投与装置、
を含むシステム。
【請求項１１】
前記微粒子化胎盤組織が、１００μｍ未満の粒径を有する、請求項１１に記載のシステム。
【請求項１２】
前記生体適合性ゲル化剤が、熱感受性ゾルゲル可逆性ハイドロゲルを含む、請求項１０～１１のいずれか１項に記載のシステム。
【請求項１３】
前記生体適合性ゲル化剤がポロクサマーを含む、請求項１０～１１のいずれか１項に記載のシステム。
【請求項１４】
前記生体適合性接着剤が、ポリアクリレート、ポリイソブチレン、マロン酸メチリデンポリマー、およびシアノアクリレートからなる群から選択される、請求項１０～１１のいずれか１項に記載のシステム。
【請求項１５】
前記投与装置が、デュアルチャンバの噴霧器またはダブルシリンジを含む、請求項１０～１４のいずれか１項に記載のシステム。
【請求項１６】
治癒を促進させるように創傷を手当するための方法であって、請求項１～９のいずれか１項の記載の組成物を創傷に適用することを含む、方法。
【請求項１７】
治癒を促進させるように創傷を手当するための方法であって、
請求項１０～１５のいずれか１項に記載のシステムを準備するステップと、
対象の創傷部位の上に前記投与装置を配置するステップと、
前記第１および第２の組成物を前記創傷の上に同時に適用するために前記投与装置に力を加えるステップであって、前記投与装置に力を加えることが、前記第１のチャンバおよび前記第２のチャンバ内の圧力および／または体積を変化させ、前記第１のチャンバからの前記第１の組成物の排出および前記第２のチャンバからの前記第２の組成物の排出をもたらす、ステップと、
を含む方法。

【請求項１８】
前記第１の組成物および第２の組成物が、前記投与装置の近位開口部からの排出の前に、チャンバまたはチューブの中で混合する、請求項１７に記載の方法。
【請求項１９】
前記第１の組成物が第１のノズルまたは開口部から排出され、前記第２の組成物が第２のノズルまたは開口部から排出され、前記第１の組成物および第２の組成物の混合が前記投与装置の外部でのみ起こる、請求項１７に記載の方法。